

2023年10月11日

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

NEWS RELEASE

超広角ズームレンズ「RF10-20mm F4 L IS STM」を発売
超広角域をカバーしながら手ブレ補正機構の搭載と小型・軽量を両立

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、プロ・ハイアマチュア向けの超広角ズームレンズ「RF10-20mm F4 L IS STM」を2023年10月27日に発売します。



RF10-20mm F4 L IS STM



超広角を生かしたダイナミックな表現



限られた空間での撮影にも対応

「RF10-20mm F4 L IS STM」は、焦点距離 10mm の超広角撮影を実現し、卓越した描写性能と優れた操作性、耐環境性、堅牢性を兼ね備えた「L (Luxury)」レンズです。「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカス^{※1}を生かした設計により、小型・軽量化とズーム全域で画面の中心部から周辺部までの高画質を実現し、多様なニーズに応えます。

■ 焦点距離 10mm から 20mm の超広角撮影とズーム全域での高画質を実現

焦点距離 10mm の超広角撮影を実現することで、限られた空間や建物内で周囲を広く写し込んだ撮影や、広大な風景、天体などでのダイナミックな遠近感を生かした表現が可能です。さらに、焦点距離 20mm までをカバーすることで、静止画だけでなく動画でもズームを生かした自由度の高い写真・映像表現を実現します。また、「スーパーUD レンズ^{※2}」1 枚、「UD レンズ^{※2}」3 枚を含む 12 群 16 枚のレンズを効果的に配置することにより、ズーム全域で色収差を補正し、色にじみの少ない高画質な描写を可能とし、さまざまなシーンでの撮影に対応します。

■ 手ブレ補正機構の搭載に加え広角特有の画像周辺の手ブレを補正する周辺協調制御^{※3}に対応

レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.0 段^{※4}、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラ^{※5}との組み合わせでは協調制御を実現し、「EOS R3」(2021年11月発売)装着時は、6.0 段^{※6}の手ブレ補正効果を発揮します。さらに、広角特有の画像周辺の手ブレを改善する周辺協調制御にも新たに対応し、夜景撮影などの手ブレが発生しやすいシーンにおいても快適な撮影を実現します。

■ 機動性に優れた小型・軽量設計と L レンズならではの信頼性を両立

「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスと、カメラ側の歪曲収差補正を生かした設計により大幅な小型・軽量化を実現しています。「EF11-24mm F4L USM」(2015年2月発売)と比較して、質量を約 1,180g から約 570g に軽量化、全長を約 132mm から約 112mm に短縮し、優れた機動力を発揮します。さらに、マウント部、コントロールリング、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造^{※7}を採用することで、小型・軽量設計と L レンズならではの信頼性を両立しています。

※1. 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。
 ※2. 「UD レンズ」: 「UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。「スーパーUD レンズ」: UD レンズの性能を大幅に向上させ、UD レンズ 2 枚分、蛍石の特性とほぼ同等の効果をもったレンズ。
 ※3. 「EOS R5」(2020年7月発売)のみ対応。2023年10月11日時点。動画電子 IS がオフ時に自動的に発動されます。
 ※4. 焦点距離 20mm、「EOS R」(2018年10月発売)使用時、CIPA 規格に準拠 (Yaw/Pitch 方向)。
 ※5. 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。
 ※6. 焦点距離 20mm、CIPA 規格に準拠 (Yaw/Pitch 方向)。
 ※7. 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

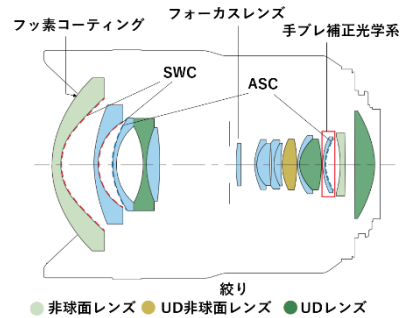
製品名	希望小売価格	発売日
RF10-20mm F4 L IS STM	オープン価格	2023年10月27日

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“RF10-20mm F4 L IS STM”の主な特長〉

1) 焦点距離 10mm から 20mm の超広角撮影とズーム全域での高画質を実現

- 焦点距離 10mm の超広角撮影を実現することで、限られた空間や建物内で周囲を広く写し込んだ撮影や、広大な風景、天体などでのダイナミックな遠近感を生かした表現が可能。
- 焦点距離 20mm までをカバーすることで、静止画だけでなく動画でもズームを生かした自由度の高い写真・映像表現を実現。
- APS-C サイズカメラ装着時は焦点距離 16mm から 32mm 相当^{※1}の広角域をカバーし、室内での広角撮影や日常のスナップ撮影などにも好適。
- 「スーパーUD レンズ」1 枚、「UD レンズ」3 枚を含む 12 群 16 枚のレンズを効果的に配置することにより、ズーム全域での色収差を補正し、色にじみの少ない高画質な描写が可能。
- 特殊コーティング「SWC（Subwavelength Structure Coating）」と「ASC（Air Sphere Coating）」を採用することで、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストなどの発生を低減。
- 美しいボケ味を実現する 9 枚羽根の円形絞りを採用。



“RF10-20mm F4 L IS STM”
光学構成図



焦点距離 10mm



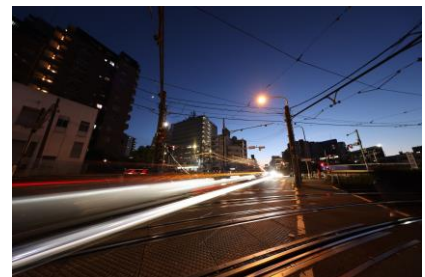
焦点距離 20mm

焦点距離 10mm と 20mm の比較

※1. 35mm 判換算。

2) 手ブレ補正機構の搭載に加え広角特有の画像周辺のブレや変形を補正する周辺協調制御に対応

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.0 段の手ブレ補正効果を実現。
- ボディー内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは協調制御を実現し、「EOS R3」（2021 年 11 月発売）装着時は、6.0 段の手ブレ補正効果を発揮。
- EOS R5^{※1} 装着時、ボディー内手ブレ補正機構との協調制御により、広角特有の画像周辺のブレや、動画での小さなブレを改善する周辺協調制御にも新たに対応^{※2}。
- 夜景撮影などの手ブレが発生しやすいシーンにおいても快適な撮影が可能。



強力な手ブレ補正効果を発揮
(シャッタースピード：1 秒)

※1. ファームウェア Ver.1.9.0 以降。

※2. 大きくパンニングする場合や画面揺れが大きい場合、動画電子 IS の使用をお勧め致します。

3) 機動性に優れた小型・軽量設計と L レンズならではの信頼性を両立

- 「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスと、カメラ側の歪曲収差補正を生かした設計により大幅な小型・軽量化を実現。
- 「EF11-24mm F4L USM」(2015 年 2 月発売) と比較して、質量を約 1,180g から約 570g に軽量化、全長を約 132mm から約 112mm に短縮し、優れた機動力を発揮。
- マウント部、コントロールリング、フォーカスリング、ズームリング、スイッチ部分とボタン部分に防じん・防滴構造を採用。レンズ前面には、油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを施すことで、メンテナンスのしやすさにも配慮。
- 左手親指で操作しやすい「レンズファンクションボタン」を設置。カメラを構えながら AF や露出など任意で割り当てた機能に切り替えることが可能。



機動力に優れた小型・軽量設計



防じん・防滴構造採用箇所

4) 高精細で印象的な表現を可能とする動画性能

- 焦点距離 10mm から 20mm のズーム全域で開放 F 値 4 を実現することで、動画でのズーム撮影でも露出変化の少ない安定した撮影が可能。
- ボディ内手ブレ補正機構を搭載しているカメラでは、動画電子 IS^{※1} 搭載カメラとの協調制御により、手持ちでの歩きながらの撮影においても手ブレを抑制。
- リードスクリュータイプのステッピングモーター (STM) を搭載することで滑らかな AF 駆動が可能。

※1. 動画電子 IS 使用時は、撮影範囲が狭くなります。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf10-20-f4/>

〈Canon EXPO 2023 について〉

「Canon EXPO 2023」は、「Future Focused. Always. ～未来の可能性を、ひろげ続けよう～」をスローガンに、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適応し、事業ポートフォリオを大きく転換しつつある姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。生まれ変わったキヤノンの姿、そしてこれからも変化し続ける姿を是非ご覧ください。



【Canon EXPO 2023 展示会概要】

●日時：2023 年 10 月 19 日 (木) ～10 月 20 日 (金) 10:00～18:00 (最終入場 17:00)

●場所：パシフィコ横浜ノース (神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1 番 2 号)

※来場には、事前申し込み (無料) が必要です。詳細はホームページをご参照ください。<https://expo.canon/welcome/>